



キャッチフレーズ

つながる 安全安心なまち 上末吉

第5期計画で力を入れたいこと

1 隣近所で顔の見える関係をつくろう

具体的な活動

- あいさつや声かけでご近所とつながり、地域みんなで子どもを見守ります。
- 見守りの中で“気づき”・“つなげる”を気軽にできるようにしよう。
【一人暮らし高齢者の食事会】



子どもたちの見守り

2 地域と学校・施設等のつながりを充実させよう

具体的な活動

- 地域と学校・施設等が連携し、地域活動に取り組もう。
【防災訓練への児童の参加、保育園や親と子のつどいの広場等との交流】
- みんなで役割分担して、楽しいイベントを企画し、幅広い世代で交流しよう。
【ポッチャなどのスポーツイベント など】
- 発災時に備え、既存の行事の中に防災をテーマに取り入れよう。
【歩け歩け大会での炊き出し】



ポッチャ大会

3 地域活動に興味を持つ人を増やそう

具体的な活動

- 地区のイベント情報を共有し、発信しよう。
【地区社協だより など】
- 各団体の垣根を超えてアイデアを出し合い、よりよい地域活動を考えよう。
【上末吉あいねっとの会 など】



地区社協だより

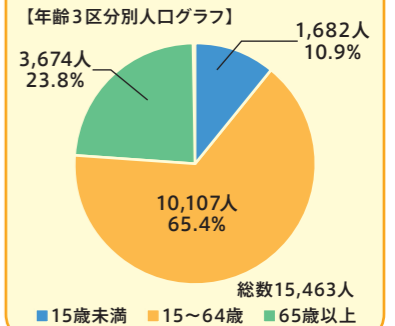
令和7年3月に鶴見川人道橋開通



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川や三ツ池公園に隣接しており、自然環境に恵まれた地域です。主な交通手段はバスで鶴見駅方面や綱島・新横浜駅方面にも移動できます。末吉地区センターが近くにあり、地域活動の拠点になっています。



第5期計画はこのようにつくりました

- 上末吉地区「上末吉地区あいねっとの会」令和7年3月14日 開催
地域をはじめ、学校関係者、子育て支援など地域で活動する団体など32名の方々にご参加いただきました。5グループに分かれて、防災、見守り（子ども、高齢者）、交流、まちの魅力アップ、人材育成・発掘などをテーマに「5期計画に向けて 5年間の具体的な取組「続けていきたいこと」「これから出来そうなこと」」について有意義な意見交換の場となりました。
どのグループでもこれからの上末吉地区の発展に向けた前向きな意見が出ました。それらの意見を基に、町内会長をはじめ地域の方とともに計画策定に向けて話し合いを行いました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

まわりが見える住みよいまち 上末吉

目標① 既存の行事や活動を充実させて、世代をこえたつながりをつくろう

- ・三ツ池フェスティバルやポッチャ大会など、多世代交流を深める場をつくりました。
- ・フレイル予防や交流のため、歩け歩け大会でのウォーキングを実施しました。

目標② 日頃の交流を深めよう

- ・小・中学校、ぼんぼり広場や親と子のつどいの広場 coronなどの交流の場をつくりました。
- ・掲示板の活用や地区社協だよりで情報発信を行いました。

目標③ 気軽なあいさつから、見守り・支え合いの輪に広げよう

- ・民生委員等による日頃の見守り活動に加え、4年ぶりに「敬老のつどい」を開催しました。
- ・コロナ禍でも工夫して地域防災拠点訓練や一人暮らし高齢者食事会などを継続して実施しました。
- ・上末吉あいねっとの会で「生活困窮」をテーマにした勉強会を実施しました。